



好きなことに取り組む

「第68回読書感想文全国コンクール」で“内閣総理大臣賞”を受賞した作品を紹介します。



それぞれの「せかいの見かた」でいいんだな

仙台市立岩切小2年

中堤想乃

わたしは科学が好きです。原子や分子の表を見たり、物がどんな物しつからできているか考えたり、夜に星空をながめたりすると心がわくわくします。でも、まわりの友だちに科学の話をすると「ふうん」とながされたり、「話が合わないね」と言われたりします。科学が好きな私は、少しへんなのかもしれません。わたしは、科学が好きな気持ちを、ふだんは、心の倉庫にしまうことにしました。

「すうがくでせかいをみるの」に出てくる女の子は数学が好きで、まわりの人からちゃんぷんかんぷんだと思われています。あ、わたしとにているな、と思いました。でも、この本に出てくる人たちは、とてもどうどうとしています。パパは絵がすきで、ママは虫がすきで、お兄ちゃんは音楽がすきです。そして家ぞくみんなで、おたがいの好きなことを大切にしています。そうか、好きなことをへんだと思わなくていいんだな、と思いました。「だれにだって好きなことがあって、それぞれのやりかたでせかいをみる」ということばが、いろいろな世界のみかたがあっていいんだよと、ゆう気をくれました。

今年の夏に、わたしはサイエンスディというイベントに参加しました。たくさんの体験ブースがあって、大人も子どももみんな科学の話におちゅうでした。科学を好きな人がこんなにいるなんてしりませんでした。一人じゃなかったんだと思ったその時、あの女の子が頭にうかびました。科学が好きな人がたくさんいるように、きっと数学が好きな人もたくさんいるはずです。一人じゃないよと、わたしもゆう気をあげたくなりました。

みんながおたがいの好きなことを大切にできたら、とてもすてきだと思います。いつかあの女の子と友だちになって、数学で見た世界のことをおしえてほしいです。わたしも科学の話をします。わたしはわたしのせかいの見かたをすきでいたいし、まわりの人の好きなことも大切にできる人になりたいです。

ノーベル賞を受賞したり、世の中を変えるような発明や発見をしたりした人は、子どもの時から自分の好きなことや興味あることに取り組んだ人が多いようです。どの子にとっても好きなことや興味あることは、一つや二つはあるものです。子どもが夢中で取り組んでいることに、周りの大人は止めるのではなく、応援をし、見守ることが大切なのです。子どもの時に取り組んだことに無駄なことはなく、大人になってきっと役立ちます。

人間にとって、好きなことや興味あることをすることは楽しいものです。特に子どもにとってはなおさらでしょう。科学、算数（数学）、絵、音楽、スポーツ、昆虫など何でもいいのです。この春休み、子どもにとって好きなものを見つけることを応援しませんか。

文責＝青少年育成センター指導員 藤村